平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月14日

上場会社名　株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス　　上場取引所　大
コード番号　6879　URL　http://www.imagicarobot.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　社長執行役員　(氏名) 長瀬 朋彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　常務執行役員　経営管理管掌　(氏名) 角田 光敏　TEL 03-6741-5742

四半期報告書提出予定日　平成24年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	36,597	730.9	2,147	1,202.5	2,166	1,183.8	1,298	2,080.2
23年3月期第3四半期	4,404	1.1	164	△13.9	168	△5.4	59	△3.9

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　1,340百万円　(5,602.0%)　23年3月期第3四半期　23百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	32.97	―
23年3月期第3四半期	8.16	―

当社は、平成23年4月1日付で、事業のすべてを子会社である旧株式会社フォトロン企画(現株式会社フォトロン)に移管する吸収分割、及び当社を存続会社として、親会社である旧株式会社イマジカ・ロボット ホールディングスとの吸収合併を行いました。なお、同日付で当社の商号を株式会社フォトロンから株式会社イマジカ・ロボット ホールディングスに変更しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	39,219	22,523	57.1
23年3月期	4,989	3,784	73.2

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　22,386百万円　23年3月期　3,651百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	10.00	10.00
24年3月期	―	0.00	―		
24年3月期(予想)				15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,800	731.0	3,000	913.1	3,000	961.8	1,850	1,428.2	46.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

当社は、平成23年4月1日付で、事業のすべてを子会社である旧株式会社フォトロン企画(現株式会社フォトロン)に移管する吸収分割、及び当社を存続会社として、親会社である旧株式会社イマジカ・ロボット ホールディングスとの吸収合併を行っております。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 3社 (社名) 株式会社IMAGICA
株式会社IMAGICAティーヴィ
株式会社イマジカデジタルスケープ
、 除外 ―社 (社名)

詳細は、添付資料5ページ【2. サマリー情報(その他)に関する情報 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動】をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料6ページ【2. サマリー情報(その他)に関する情報 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用】をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	44,531,567 株	23年3月期	7,547,550 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	5,158,000 株	23年3月期	250,111 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	39,373,567 株	23年3月期3Q	7,297,456 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項等につきましては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……4
２．サマリー情報(その他)に関する事項 ……5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……6
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……6
３．四半期連結財務諸表 ……7
（１）四半期連結貸借対照表 ……7
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……9
四半期連結損益計算書 ……9
四半期連結包括利益計算書 ……10
（３）継続企業の前提に関する注記 ……11
（４）セグメント情報等 ……11
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……13
（６）重要な後発事象 ……13
４．補足情報 ……14

１．当四半期決算に関する定性的情報

当社は、平成23年４月１日付で、事業のすべてを子会社である旧株式会社フォトロン企画（現株式会社フォトロン）に移管する吸収分割、及び当社を存続会社として、親会社である旧株式会社イマジカ・ロボット ホールディングスとの吸収合併を行いました。

（１）連結経営成績に関する定性的情報

① 当第３四半期連結累計期間の概況

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響を受けて大きく落ち込み、その後夏場にかけて急速に回復しましたが、円高や欧州を中心とした海外経済減速の影響などから、年末にかけて回復ペースが大きく鈍化し、経済状況は先行き不透明となっております。

このような環境の下で、当社グループは、映像ビジネスにおいて幅広い事業展開を行っており、グループ一丸となって、経営ビジョンに掲げております「映像コミュニケーションにおける新たな価値創造」に向けて、グループの総合力を発揮し、収益力及び財務体質を強化することに取り組んでまいりました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は365億97百万円（前年同期比730.9%増）、営業利益は21億47百万円（前年同期比1,202.5%増）、経常利益は21億66百万円（前年同期比1,183.8%増）、四半期純利益は12億98百万円（前年同期比2,080.2%増）を計上いたしました。

② セグメント別の業績

1)映像技術サービス事業

映画分野におきましては、フィルムプリントから、デジタルシネマへの移行が加速度的に進んでいることに伴い、利益率の高いＤＣＰ（デジタルシネマパッケージ）の受注案件が大幅に増加しております。テレビ番組、CM制作分野におけるポストプロダクション作業におきましては、テレビ番組の特番の影響により受注が一時的に減少したこと等のマイナス要因がありましたが、テレビＣＭのＯＡコピーの受注が増加したことにより、CM関連事業は堅調に推移いたしました。また、撮影サービス案件が減少しましたが、業務の効率化を図ったこと等により、営業利益は計画を上回りました。

この結果、当第３四半期連結累計期間における当該事業分野の業績は、売上高は149億25百万円、営業利益は24億83百万円となりました。

2)映像ソフト事業

広告制作におきましては、震災の影響によりCM案件が減少し予算の縮小化がある中で、積極的な営業活動により大型案件の受注を確保しました。映画分野におきましては、制作及び出資を行いました「ＲＡＩＬＷＡＹＳ 愛を伝えられない大人たちへ」「ｆｒｉｅｎｄｓ もののけ島のナキ」「ワイルド７」が公開され、平成24年１月には「ＡＬＷＡＹＳ 三丁目の夕日’６４」が公開されました。またテレビドラマの番組制作も積極的に行うとともに、携帯電話向けコンテンツ制作やＷｅｂサイト制作などコンテンツに関連する分野において事業を展開してまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間における当該事業分野の業績は、売上高は89億43百万円、営業利益は１億26百万円となりました。

3)放送事業

放送分野におきましては、「洋画★シネフィル・イマジカ」「食と旅のフーディーズＴＶ」「歌謡ポップスチャンネル」の３チャンネルを運営しております。スカパー！ｅ２、スカパー！ＨＤ、ＣＡＴＶ、ＩＰ放送における加入者数及び単価が向上したことにより視聴料収入が増加しましたが、「洋画★シネフィル・イマジカ」においては、平成24年３月１日よりＢＳデジタル放送へ移行し、チャンネル名を「ＩＭＡＧＩＣＡ　ＢＳ」として開局する予定です。ホテル分野におきましては、震災の影響による宿泊客の減少に伴い、ペイテレビが減収しております。また、スポーツやエンターテインメントの情報配信アプリ「ＤＡＦＬＯＩＤ」のサービスを開始し、コンテンツの強化とともにダウンロード数は着実に増加しております。

この結果、当第３四半期連結累計期間における当該事業分野の業績は、売上高は33億82百万円、営業利益は66百万円となりました。

4)映像システム事業

イメージング分野におきましては、国内での高速度デジタルビデオカメラが震災の影響により受注が減少したことに加え、新製品の発売に遅れが生じましたが、海外市場での高速度デジタルビデオカメラの売上高及び営業利益は堅調に推移しました。プロフェッショナル用映像機器分野におきましては、受注競争が熾烈化している中、大手放送局への大型映像システムを受注したことにより、利益に貢献いたしました。また、画像処理用ＬＳＩ関連につきましては、大手メーカーを中心に国内の出荷が低調となっております。

この結果、当第３四半期連結累計期間における当該事業分野の業績は、売上高は58億９百万円、営業利益は２億65百万円となりました。

5)人材コンサルティング事業

人材派遣・請負サービス分野におきましては、従来のＷｅｂ分野やゲームエンタテインメント分野におけるクリエイターの人材派遣・請負に加え、期初に株式会社イマジカデジタルスケープが株式会社ＩＭＡＧＩＣＡ　ＰＤと合併したことにより、新たに「ポストプロダクション領域」での映像の編集や加工・録音といった映像技術者の人材派遣を展開しており、売上高及び営業利益は堅調に推移いたしました。また、コンテンツ制作受託の分野におきましては、ゲーム制作を中心に受注を着実に獲得いたしました。

この結果、当第３四半期連結累計期間における当該事業分野の業績は、売上高は61億31百万円、営業利益は66百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

1)資産

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は392億19百万円（前期末比342億29百万円増）となりました。うち流動資産は252億25百万円、固定資産は139億93百万円であります。

流動資産の主な内容といたしましては、現金及び預金102億52百万円、受取手形及び売掛金74億28百万円、たな卸資産58億85百万円であります。

固定資産の主な内容といたしましては、有形固定資産90億47百万円、無形固定資産８億69百万円、投資その他の資産40億77百万円であります。

2)負債

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は166億96百万円（前期末比154億92百万円増）となりました。うち流動負債は135億52百万円、固定負債は31億43百万円であります。

流動負債の主な内容といたしましては、支払手形及び買掛金39億８百万円、短期借入金44億50百万円であります。

固定負債の主な内容といたしましては、長期未払金６億99百万円、退職給付引当金14億93百万円であります。

3)純資産

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は225億23百万円（前期末比187億38百万円増）となりました。なお、自己資本比率は57.1%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

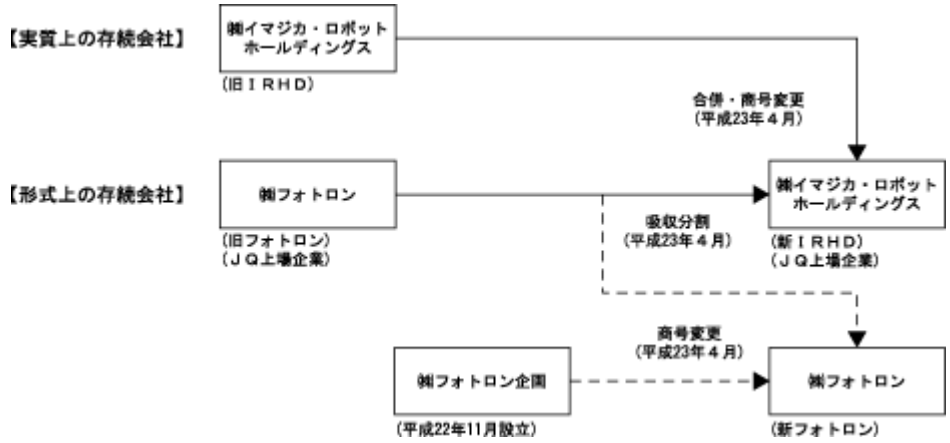
平成23年11月８日付で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、イメージングシステム事業、ソリューション事業、及びＬＳＩ開発事業について、平成23年４月１日を効力発生日として吸収分割（以下、「本会社分割」といいます。）により当社の完全子会社である株式会社フォトロン企画（以下、「フォトロン企画」といいます。）に承継し、当社は持株会社へ移行すること、及び、同時に同日付で当社を存続会社、当社の親会社である株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス（以下、「旧ＩＲＨＤ」といいます。）を消滅会社とする吸収合併（以下、「本合併」といい、「本会社分割」と総称して「本組織再編」といいます。）を完了いたしました。

また、本組織再編に伴い、当社の社名を「株式会社フォトロン」（以下、「旧フォトロン」といいます。）から「株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス」（以下、「新ＩＲＨＤ」といいます。）に、フォトロン企画の社名を「株式会社フォトロン」（以下、「新フォトロン」といいます。）にそれぞれ変更し、当社の定款につきましても商号・目的（事業）・体制に合わせて変更いたしました。



本組織再編の結果、当社の事業体制の変更及び子会社の異動が生じております。

組織再編後の事業体制及び子会社の状況につきましては下表のとおりの構成となっております。

セグメントの名称	事業の内容	会社名
映像技術サービス事業	映画用フィルムの現像・焼付・合成加工 テレビ用・産業用ビデオ映像の編集・録音加工 各種メディア向け技術サービス ＤＶＤ用パッケージサービス ビデオ撮影サービス	㈱IMAGICA（注３） ㈱IMAGICAウェスト ㈱IMAGICAイメージワークス ㈱IMAGICAトータルサービス
映像ソフト事業	劇場映画の企画・製作 テレビコマーシャルの企画・制作 映像コンテンツの企画・制作・販売・サポート 映像コンテンツの権利の取得・利用	㈱ロボット ㈱ピクス ㈱ジェンコ
放送事業	ＣＳデジタル放送の運営、番組制作・調達 各種メディア向けコンテンツの提供・配給 ホテル内ペイテレビシステムの運営・販売	㈱IMAGICAティーヴィ（注３）
映像システム事業	映像システムの開発・販売 ＬＳＩの開発・販売	㈱フォトロン（旧㈱フォトロン企画） フォトロン メディカル イメージング㈱ アイチップス・テクノロジー㈱ PHOTRON USA, Inc. PHOTRON EUROPE Ltd. ㈱IMAGICAデジックス
人材コンサルティング事業	人材コンサルティング コンテンツの制作受託 画像・映像の撮影、加工、配信および関連サービスの企画・受託・販売	㈱イマジカデジタルスケープ（注３） ㈱マルチビッツ

（注）１．上記の会社名表記会社はいずれも連結子会社であります。
２．上記の他に連結子会社１社（㈱マッシヴメディアネットワーク）、非連結子会社１社（PHOTRON VIETNAM TECHNICAL CENTER Ltd.）があります。
３．特定子会社に該当いたします。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,837,536	10,252,255
受取手形及び売掛金	1,195,650	7,428,129
たな卸資産	832,698	5,885,227
繰延税金資産	80,672	564,404
その他	169,339	1,155,439
貸倒引当金	－	△59,839
流動資産合計	4,115,897	25,225,615
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	499,851	11,486,227
減価償却累計額	△403,963	△8,047,472
減損損失累計額	－	△15,866
建物及び構築物（純額）	95,888	3,422,888
機械装置及び運搬具	100,831	22,370,835
減価償却累計額	△88,979	△20,846,575
減損損失累計額	－	△4,632
機械装置及び運搬具（純額）	11,852	1,519,627
土地	337,974	3,083,820
建設仮勘定	－	39,978
その他	487,276	2,953,250
減価償却累計額	△390,832	△1,948,953
減損損失累計額	△2,076	△23,369
その他（純額）	94,367	980,927
有形固定資産合計	540,082	9,047,242
無形固定資産		
ソフトウエア	53,625	507,341
のれん	－	187,122
その他	39,405	174,596
無形固定資産合計	93,031	869,060
投資その他の資産		
投資有価証券	24,161	2,329,737
関係会社株式	31,300	30,300
敷金及び保証金	110,948	681,892
繰延税金資産	38,934	476,094
その他	35,199	759,280
貸倒引当金	－	△200,026
投資その他の資産合計	240,542	4,077,278
固定資産合計	873,655	13,993,582
資産合計	4,989,553	39,219,197

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	579,431	3,908,468
短期借入金	150,000	4,450,200
未払金	64,456	733,610
未払法人税等	36,635	579,521
繰延税金負債	4,226	3,782
賞与引当金	44,396	403,543
受注損失引当金	―	53,515
その他	184,331	3,419,687
流動負債合計	1,063,478	13,552,329
固定負債		
長期借入金	―	12,600
長期未払金	45,087	699,635
繰延税金負債	10,948	390,790
退職給付引当金	25,155	1,493,769
役員退職慰労引当金	54,877	―
その他	5,784	547,005
固定負債合計	141,853	3,143,801
負債合計	1,205,332	16,696,130
純資産の部		
株主資本		
資本金	504,600	3,244,915
資本剰余金	400,692	13,383,266
利益剰余金	3,078,361	6,008,775
自己株式	△108,799	―
株主資本合計	3,874,855	22,636,957
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	248	△66,627
繰延ヘッジ損益	△2,624	769
土地再評価差額金	△51,497	△36,398
為替換算調整勘定	△169,469	△148,032
その他の包括利益累計額合計	△223,343	△250,289
少数株主持分	132,710	136,398
純資産合計	3,784,221	22,523,066
負債純資産合計	4,989,553	39,219,197

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日)
売上高	4,404,659	36,597,368
売上原価	1,865,177	26,132,561
売上総利益	2,539,482	10,464,807
販売費及び一般管理費	2,374,599	8,317,157
営業利益	164,883	2,147,649
営業外収益		
受取利息	13,520	3,198
受取配当金	350	35,883
受取賃貸料	17,361	16,855
その他	2,678	42,455
営業外収益合計	33,911	98,392
営業外費用		
支払利息	8,756	31,210
役員退職慰労引当金繰入額	－	21,427
その他	21,277	26,901
営業外費用合計	30,034	79,539
経常利益	168,759	2,166,503
特別利益		
固定資産売却益	3,156	10,991
負ののれん発生益	1,097	169,366
その他	－	32,857
特別利益合計	4,254	213,215
特別損失		
固定資産売却損	－	5,215
固定資産除却損	128	18,671
退職給付制度改定損	－	109,152
その他	14,541	101,716
特別損失合計	14,670	234,754
税金等調整前四半期純利益	158,343	2,144,964
法人税等	88,625	866,913
少数株主損益調整前四半期純利益	69,718	1,278,051
少数株主利益又は少数株主損失（△）	10,175	△20,091
四半期純利益	59,542	1,298,142

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第３四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日)	当第３四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	69,718	1,278,051
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27	88,073
繰延ヘッジ損益	1,254	2,624
為替換算調整勘定	△47,491	△28,251
その他の包括利益合計	△46,208	62,445
四半期包括利益	23,509	1,340,496
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,333	1,360,587
少数株主に係る四半期包括利益	10,175	△20,091

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結損益計算書計上額
	映像技術サービス	映像ソフト	放送	映像システム	人材コンサルティング	計		
売上高								
外部顧客への売上高	―	―	―	4,404,659	―	4,404,659	―	4,404,659
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―	―	―
計	―	―	―	4,404,659	―	4,404,659	―	4,404,659
セグメント利益	―	―	―	164,883	―	164,883	―	164,883

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結損益計算書計上額
	映像技術サービス	映像ソフト	放送	映像システム	人材コンサルティング	計		
売上高								
外部顧客への売上高	14,491,403	8,914,116	3,377,814	5,539,337	4,250,589	36,573,261	24,107	36,597,368
セグメント間の内部売上高又は振替高	434,122	29,130	4,900	269,827	1,880,599	2,618,579	△2,618,579	―
計	14,925,525	8,943,246	3,382,714	5,809,165	6,131,188	39,191,840	△2,594,471	36,597,368
セグメント利益又は損失（△）	2,483,355	126,965	66,798	265,663	66,294	3,009,077	△861,427	2,147,649

（注）１.セグメント利益又は損失（△）の調整額△861,427千円は、持株会社（連結財務諸表提出会社）等に係る損益912,993千円及びセグメント間取引消去△1,774,420千円であります。

２.セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2　報告セグメントの変更等に関する事項

当社及び当社の親会社であった、旧株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス（以下「旧ＩＲＨＤ」といいます。）は、平成23年４月１日付にて、当社を存続会社、旧ＩＲＨＤを消滅会社とする吸収合併を行い、旧ＩＲＨＤの事業の全部を承継すると共に、商号を株式会社イマジカ・ロボットホールディングスに変更いたしました。

これに伴い、第１四半期連結会計期間より、報告セグメントの事業区分の変更を行っております。従来、「イメージングシステム」「ソリューション」「ＬＳＩ開発」の３事業区分にて記載しておりましたが、変更後の事業区分は「映像システム」の１事業区分で記載しております。

旧ＩＲＨＤより承継した事業、及び従来の報告セグメントを変更した「映像システム」セグメントについての内容は以下の通りです。

「映像技術サービス事業」は、映画用フィルムの現像・プリント、ＴＶ番組・ＣＭ・ＰＲ等のビデオ映像・音声編集、デジタル合成、ＤＶＤパッケージ化など、撮影から完成までのプロセス全般を展開しております。

「映像ソフト事業」は、劇場映画やアニメ作品の企画制作、ＴＶＣＭを中心とした広告制作、Ｗｅｂ映像の企画制作のほか、各種映像コンテンツのライセンスビジネスを行っています。

「放送事業」は、ＣＳデジタル放送、放送番組の企画制作・編成、ＤＶＤの企画・制作・発売、ホテルペイテレビ向けの番組配給事業等を行っております。

「映像システム事業」は、映像・画像に関わる最先端の映像情報機器やソフトウェアの開発・製造・販売事業、画像関連ＬＳＩの開発・販売、ハイエンド映像関連機器の輸入販売、保守サービス等の事業を展開しております。

「人材コンサルティング事業」は、デジタルクリエイターとＩＴエンジニアに特化した人材派遣・請負サービスやコンテンツ制作受託等の事業を展開しております。

3　報告セグメントごとの資産の著しい金額の変動

平成23年４月１日付にて、当社を存続会社、親会社であった旧ＩＲＨＤを消滅会社とする吸収合併を行ったことにより、前連結会計年度末に比べて、資産が著しく増加しております。なお、当第３四半期連結累計期間における各セグメントの資産は以下の通りです。

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結貸借対照表計上額
	映像技術サービス	映像ソフト	放送	映像システム	人材コンサルティング	計		
セグメント資産	22,680,224	4,316,924	2,762,452	5,851,092	2,935,858	38,546,551	672,645	39,219,197

４　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第３四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

重要な変動はありません。

（重要な負ののれん発生益）

平成23年４月１日付にて、当社を存続会社、親会社であった旧ＩＲＨＤを消滅会社とする吸収合併を行ったことにより、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれんを一括償却したことにより、当第３四半期連結累計期間において負ののれん発生益169,366千円を計上しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

当社は、平成23年４月１日付で親会社である旧株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス（以下、「旧ＩＲＨＤ」といいます。）を消滅会社、当社を存続会社として合併しております。

当該合併は、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号　平成20年12月26日）第212項に基づき、会計処理を行っております。

このため、前連結会計年度まで当社を企業集団の頂点とした連結財務諸表を作成しておりましたが、第１四半期連結会計期間より、旧ＩＲＨＤを企業集団の頂点とみなして連結財務諸表を作成しており、当第３四半期連結累計期間の株主資本の期首残高は旧ＩＲＨＤの連結期首残高となっております。この結果、前連結会計年度の株主資本の連結会計年度末残高と当第３四半期連結累計期間の株主資本の期首残高との間には連続性がなくなっております。

	株主資本（千円）			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
平成23年３月31日残高（注）	2,740,315	12,978,605	4,903,415	20,622,336
当第３四半期連結累計期間中の変動額				
剰余金の配当			△161,022	△161,022
四半期純利益			1,298,142	1,298,142
合併による増加	504,600	404,661		909,261
連結範囲の変動			△31,760	△31,760
当第３四半期連結累計期間中の変動額合計	504,600	404,661	1,105,359	2,014,621
平成23年12月31日残高	3,244,915	13,383,266	6,008,775	22,636,957

(注)「平成23年３月31日残高」は、旧ＩＲＨＤの連結期末残高を記載しております。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。

４．補足情報

【参考情報】

当社（旧株式会社フォトロン）は、平成23年４月１日を効力発生日として、事業のすべてを完全子会社である株式会社フォトロン企画（同日付で株式会社フォトロンに商号を変更しております。）に承継し、当社は持株会社へ移行する吸収分割、及び当社を存続会社、当社の親会社である旧株式会社イマジカ・ロボットホールディングス（以下、「旧ＩＲＨＤ」といいます。）を消滅会社とする吸収合併を完了し、同日付で商号を株式会社イマジカ・ロボット ホールディングスに変更いたしました。実質的存続会社となる旧ＩＲＨＤの前連結会計年度末（平成23年３月期末）に係る連結貸借対照表及び前四半期連結累計期間（平成23年３月期第３四半期）に係る連結損益計算書につきまして、参考情報としてお知らせいたします。

（１）前連結会計年度末に係る連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	10,329,933
受取手形及び売掛金	8,532,888
商品及び製品	756,064
仕掛品	3,851,219
原材料及び貯蔵品	474,000
繰延税金資産	625,510
その他	724,445
貸倒引当金	△54,777
流動資産合計	25,239,286
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物	11,378,043
減価償却累計額	△7,725,992
建物及び構築物（純額）	3,652,050
機械装置及び運搬具	22,930,522
減価償却累計額	△21,042,455
機械装置及び運搬具（純額）	1,888,067
土地	3,083,820
建設仮勘定	50,729
その他	2,565,329
減価償却累計額	△1,797,381
その他（純額）	767,948
有形固定資産合計	9,442,615
無形固定資産	
ソフトウエア	567,215
のれん	248,296
その他	138,656
無形固定資産合計	954,168
投資その他の資産	
投資有価証券	2,286,795
長期貸付金	91,756
繰延税金資産	554,770
その他	1,175,371
貸倒引当金	△181,573
投資その他の資産合計	3,927,120
固定資産合計	14,323,904
資産合計	39,563,190

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	4,575,077
短期借入金	4,666,592
未払法人税等	410,743
賞与引当金	840,150
未払金	1,026,465
前受金	2,472,254
受注損失引当金	58,303
その他	1,320,559
流動負債合計	15,370,147
固定負債	
長期借入金	19,400
退職給付引当金	1,393,692
役員退職慰労引当金	310,878
繰延税金負債	397,738
その他	525,708
固定負債合計	2,647,417
負債合計	18,017,565
純資産の部	
株主資本	
資本金	2,740,315
資本剰余金	12,978,605
利益剰余金	4,903,415
株主資本合計	20,622,336
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△154,701
繰延ヘッジ損益	△1,854
土地再評価差額金	△36,398
為替換算調整勘定	△119,780
その他の包括利益累計額合計	△312,735
少数株主持分	1,236,024
純資産合計	21,545,625
負債純資産合計	39,563,190

（２）前第３四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第３四半期連結累計期間 (自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日)
売上高	37,036,576
売上原価	26,391,837
売上総利益	10,644,738
販売費及び一般管理費	7,896,060
営業利益	2,748,678
営業外収益	
受取利息	2,147
受取配当金	33,938
持分法による投資利益	3,774
その他	62,779
営業外収益合計	102,640
営業外費用	
支払利息	50,832
為替差損	18,845
その他	39,376
営業外費用合計	109,054
経常利益	2,742,264
特別利益	
固定資産売却益	4,053
貸倒引当金戻入額	12,717
役員退職慰労引当金戻入額	17,077
退職給付制度改定益	17,482
その他	10,716
特別利益合計	62,046
特別損失	
固定資産処分損	64,292
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	98,407
厚生年金基金脱退拠出金	170,000
その他	156,849
特別損失合計	489,549
税金等調整前四半期純利益	2,314,761
法人税等	967,850
少数株主損益調整前四半期純利益	1,346,910
少数株主利益	45,629
四半期純利益	1,301,280